



Ultra Bar 9

取扱説明書

Ver 1.00



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American DJ Ultra Bar 9 をご購入頂き誠にありがとうございます。Ultra Bar 9 は RGB TRI LED を搭載し、35 色のカラーがプログラムされたバータイプの LED ウォッシャーです。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので大切に保管してください。

基本仕様

- サウンドアクティブ(本体にマイクを内蔵)
- 内蔵プログラムモード(22 種類のプログラムから 1 つを選択)
- スタティックカラーモード(35 種類のカラーから 1 色を選択)
- オートモード(自動でプログラムを選択。フェードスピードを調節可能)
- DMX チャンネルモード:3、5、6、7、8、9、11 チャンネルの中から選択可能
- ディミング 0-100%
- 3 ピン XLR DMX 入出力端子

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。
本体に異常がある場合は、本製品の使用を止め、販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。
電源ケーブルは踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
4. 電源、電圧が正しいことを確認の上ご使用ください。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
5. デイマーパックからの電源供給は行わないでください。
6. ケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部を持って行ってください。
7. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。また、アース端子は必ず接続してください。
8. 本製品は屋内専用です。本製品を屋外で使用した場合、保証対象外となります。
9. 周囲温度が 40 度を超える環境では使用しないでください。
10. 本体は壁から約 15cm 以上離し、通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また、周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
11. 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
12. 長時間使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外してください。

故障が生じた場合は、販売店、もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。

メンテナンス以外の目的において、無断で本体カバーを開けた場合、保証の対象外となる場合があります。

操作方法

基本操作

Ultra Bar 9 の設定は、本体背面にある MODE ボタンと SET UP ボタン、UP/DOWN ボタンを使用していきます。ディスプレイを消灯させたい場合は、MODE ボタンを押しながら DOWN ボタンを押します(ボタン操作なしのまま 20 秒待つと消灯します)。いずれかのボタンを押すと再度ディスプレイが表示されます。常にディスプレイを表示するには、MODE ボタンを押しながら UP ボタンを押します。

操作モード

Ultra Bar 9 では以下の中から任意のモードを選択することができます。

- ・スタティックカラーモード : 35 種類のカラーから 1 色を選択。
- ・RGB カラーモード : R 赤、G 緑、B 青をそれぞれ調光し、任意に色を作ることができます。
- ・プログラムモード : 内蔵された 22 プログラムの中から 1 つを選び動作させることができます。
- ・サウンドアクティブモード : 内蔵マイクで感知した音に反応してプログラムが動作します。
- ・オートモード : 内蔵されたプログラムにより、自動で色が変化していきます。
- ・DMX コントロールモード : DMX コントローラーで制御を行います。
- ・マスター/スレーブモード : スレーブに設定した灯体がマスター灯体に同期して動作します。

スタティックカラーモード

35 種類のカラーから 1 色を選択。

1. ディスプレイに“C0.XX”と表示されるまで MODE ボタンを押します。“XX”は 01～35 までのカラーの数字を表します。
2. UP/DOWN ボタンを押してお好みのカラーを選択し、SET UP ボタンを押して決定します。
3. “FS.XX”と表示されます。ここでは、フラッシュの速さを設定できます。(“FS.00”=フラッシュ OFF、“FS.15”=フラッシュ最大)

RGB カラーモード

R 赤、G 緑、B 青をそれぞれ調光し任意に色を作ることができます。

1. ディスプレイに“r.XXX”と表示されるまで MODE ボタンを押し、ここで赤を調光します。
2. UP/DOWN ボタンを押して 0-255 までの値を任意に設定し、SET UP ボタンを押します。
3. 次に“G.XXX”と表示されます。ここで緑を調光します。
4. UP/DOWN ボタンを押して 0-255 までの値を任意に設定し、SET UP ボタンを押します。

5. 次に“b.XXX”と表示されます。ここで青を調光します。
6. UP/DOWN ボタンを押して 0-255 までの値を任意に設定し、SET UP ボタンを押します。
7. “FS.XX”と表示されます。ここでは、フラッシュの速さを設定できます。（“FS.00”=フラッシュ OFF、“FS.15”=フラッシュ最大）

プログラムモード

内蔵された 22 プログラムの中から 1 つを選び動作させることができます。

1. ディスプレイに“Pr.XX”と表示されるまで MODE ボタンを押します。ここで“XX”は 1-22 のプログラム数字を表します。
2. UP/DOWN ボタンを押して 01-22 までの値を任意に設定し、SET UP ボタンで決定をします。
3. 次に“SP.XX”と表示されます。ここでは照明本体の動作速度を調節できます。
4. UP/DOWN ボタンを押して 01-99 までの値を任意に設定し、SET UP ボタンを押します。（“SP.01”=スピード遅くなる、“SP.99”=フラッシュ最速）
5. 次に“Fd.XX”と表示されます。ここではフェードタイムを調節できます。
6. UP/DOWN ボタンを押して 00-99 までの値を任意に設定し、SET UP ボタンを押します。（“Fd.00”=フェード OFF、“Fd.01”=フェード最速、“Fd.99”=フェード最遅）
7. 次に“FS.XX”と表示されます。ここではフラッシュの速度を調節できます。
8. UP/DOWN ボタンを押して 00-15 までの値を任意に設定し、SET UP ボタンを押します。（“FS.00”=フラッシュ OFF、“FS.15”=フラッシュ最速）

※“Pr.XX”で、“Pr.21”、または“Pr.22”を選択すると、フラッシュの速度を設定し、SET UP ボタンを押した後、“C1.XX”が表示されます。ここでは基本となるカラーを選択することができます。UP/DOWN ボタンを押して 7 色の中で選択し、SET UP ボタンを押してください。その後、“C2.XX”が表示され、C1 の後に続く色を設定することができます。UP/DOWN ボタンを押して 7 色の中で選択し、SET UP ボタンを押してください。

サウンドアクティブモード

内蔵マイクで感知した音に反応してプログラムが動作します。

1. ディスプレイに“SU.XX”と表示されるまで MODE ボタンを押します。“XX”はサウンドアクティブのマイク感度を表します。
2. UP/DOWN ボタンを押して“XX”の値を 00-31 のの中から選択し、サウンドアクティブのマイク感度を調節します。（“SU.00”=サウンドアクティブ OFF、“SU.31”=感度が最も高い）
3. SET UP ボタンを押して決定した後、“FS.XX”と表示されます。
4. UP/DOWN ボタンを押して 00-15 までの値を任意に設定し、SET UP ボタンを押します。（“FS.00”=フラッシュ OFF、“FS.15”=フラッシュ最速）

オートモード

内蔵されたプログラムにより、自動で色が変わっていきます。

1. ディスプレイに“AUTO”と表示されるまで MODE ボタンを押し、表示されたら SET UP ボタンを押します。
2. “Fd.XX”と表示されます。ここではフェードタイムを調節できます。
3. UP/DOWN ボタンを押して 00-99 までの値を任意に設定し、SET UP ボタンを押します。
（“Fd.00”=フェード OFF、“Fd.01”=フェード最速、“Fd.99”=フェード最遅）
4. 次に“FS.XX”と表示されます。ここではフラッシュの速度を調節できます。
5. UP/DOWN ボタンを押して 00-15 までの値を任意に設定し、SET UP ボタンを押します。
（“FS.00”=フラッシュ OFF、“FS.15”=フラッシュ最速）

マスター/スレーブモード

接続した複数の Ultra Bar 9 を同期させます。

[接続及び設定方法]

1. マスターとなる灯体を 1 台選びます。
2. 本体の側面に 3 ピン XLR デジタルケーブルを接続し、灯体を直列に連結してください。
マスターの灯体が始点となるようにし、マスターユニットの DMX 出力端子に 3 ピン XLR デジタルケーブルのオスを接続します。
※電源ケーブルは最大 15 台まで連結できます。15 台以上接続する場合は新たに電源を供給する必要があります。この際、Ultra Bar 9 以外は連結しないでください。デジタル XLR ケーブルを同様に接続してください。
3. マスターとなる灯体を任意のモードに設定します。
4. マスター以外の灯体をスレーブに設定します。本体側面の MODE ボタンを何度か押して、本体のディスプレイを“SLAv”という表示にしてください。スレーブに設定した灯体がマスターに設定した灯体に同期して動作します。

DMX モード

DMX のチャンネル数が異なる 7 つのモード(3、5、6、7、8、9、11 チャンネルモード)から選択できます。

1. Ultra Bar 9 と DMX コントローラーを XLR デジタルケーブルで接続します。
2. ディスプレイに“d.XXX”と表示されるまで MODE ボタンを押してください。
3. UP/DOWN ボタンを押して“XXX”を任意の DMX スタートアドレスの数値にし、SET UP ボタンを押して決定します。
4. ディスプレイに“Ch.XX”と表示されます。UP/DOWN ボタンを押して“XX”を任意のチャンネルモードの値に設定します。

5. DMX 表と DMX コントローラーのマニュアルを参照しながら制御を行います。

それぞれの表示に対応するモードは以下の通りです。

Ch.03: 3 チャンネルモード

Ch.05: 5 チャンネルモード

Ch.06: 6 チャンネルモード

Ch.07: 7 チャンネルモード

Ch.08: 8 チャンネルモード

Ch.09: 9 チャンネルモード

Ch.11: 11 チャンネルモード

デフォルトランニングモード

デフォルトの設定に戻します。

1. MODE ボタンと SET UP ボタンを同時に押してください。
2. デフォルトの設定にもどり、オートモードで動作し始めます。

ディマーカーブ

お好みのディマーカーブを設定します。

1. ディスプレイに“d.XXX”と表示されるまで MODE ボタンを押してください。
2. ディスプレイに“dr.-X”と表示されるまで SET UP ボタンを押してください。
“X”は、ディマーカーブの値を示します。UP/DOWN ボタンを押して任意の値を設定してください。
3. SET UP ボタンを押して完了です。

DMX 表

3 チャンネルモード (Ch.03)

チャンネル	DMX 値	機能
1	000 - 255	<u>赤</u> 0%→100%
2	000 - 255	<u>緑</u> 0%→100%
3	000 - 255	<u>青</u> 0%→100%

5 チャンネルモード (Ch.05)

チャンネル	DMX 値	機能
1	000 - 255	<u>赤</u> 0%→100%
2	000 - 255	<u>緑</u> 0%→100%
3	000 - 255	<u>青</u> 0%→100%
4	000 - 015 016 - 255	<u>ストロボ</u> ストロボ無し ストロボ遅→速
5	000 - 255	<u>ディマー</u> 0%→100%

6 チャンネルモード (Ch.06)

チャンネル	DMX 値	機能
1	000 - 255	<u>赤</u> 0%→100%
2	000 - 255	<u>緑</u> 0%→100%
3	000 - 255	<u>青</u> 0%→100%
4	000 - 255	<u>カラーマクロ</u> カラーマクロチャート参照
5	000 - 015 016 - 255	<u>ストロボ</u> ストロボ無し ストロボ遅→速
6	000 - 255	<u>ディマー</u> 0%→100%

※チャンネル 1、2、3 未使用時、チャンネル 4 が制御可能。

7 チャンネルモード (Ch.07)

チャンネル	DMX 値	機能
1	000 - 255	<u>赤</u> 0%→100%
2	000 - 255	<u>緑</u> 0%→100%
3	000 - 255	<u>青</u> 0%→100%
4	000 - 255	<u>ディマー</u> 0%→100%
5	000 - 015 016 - 255 (000 - 255) (000 - 255)	<u>ストロボ、プログラムスピード、サウンド感度調節</u> - ストロボ遅→速 (プログラムスピード 遅→速) (サウンド感度設定 低→高)
6	000 - 051 052 - 102 103 - 204 205 - 255	<u>モード選択</u> ディマーモード カラーマクロモード プログラムモード サウンドアクティブモード
7	000 - 255 000 - 024 025 - 035 036 - 046 047 - 057 058 - 068 069 - 079 080 - 090 091 - 101 102 - 112 113 - 123 124 - 134 135 - 145 146 - 156 157 - 167 168 - 178 179 - 189 190 - 200 201 - 211 212 - 222 223 - 233 234 - 244 245 - 255	<u>カラーマクロ、プログラム</u> カラーマクロ(カラーマクロチャート参照) PROGRAM1 PROGRAM2 PROGRAM3 PROGRAM4 PROGRAM5 PROGRAM6 PROGRAM7 PROGRAM8 PROGRAM9 PROGRAM10 PROGRAM11 PROGRAM12 PROGRAM13 PROGRAM14 PROGRAM15 PROGRAM16 PROGRAM17 PROGRAM18 PROGRAM19 PROGRAM20 PROGRAM21 PROGRAM22

※チャンネル 6 の値が 0-51 の時:

チャンネル 1-3→有効

チャンネル 5→ストロボの速度調節

※チャンネル 6 の値が 52-102 の時:

チャンネル 7→マクロカラーの制御(後記のカラーマクロチャート参照)

チャンネル 5→ストロボの速度調節

※チャンネル 6 の値が 103-204 の時:

チャンネル 7→PROGRAM1~22 のいずれかを選択

チャンネル 5→選択された PROGRAM の速度調節

※チャンネル 6 の値が 205-255 の時:

チャンネル 7→サウンドアクティブモード

チャンネル 5→マイクの感度調節

※チャンネル 7 の値が 234-255 (PROGRAM21、22) の時:

チャンネル 3→基本のカラーに続く色を選択

チャンネル 4→基本のカラーを選択

チャンネル 5→チャンネル 4 から 3 までので選択したカラーの速度調節

8 チャンネルモード (Ch.08)

チャンネル	DMX 値	機能
1	000 - 255	赤 0%→100%
2	000 - 255	緑 0%→100%
3	000 - 255	青 0%→100%
4	000 - 255	カラーマクロ カラーマクロチャート参照
5		プログラム -
	000 - 015	PROGRAM1
	016 - 025	PROGRAM2
	026 - 035	PROGRAM3
	036 - 045	PROGRAM4
	046 - 055	PROGRAM5
	056 - 065	PROGRAM6
	066 - 075	PROGRAM7
	076 - 085	PROGRAM8
	086 - 095	PROGRAM9
	096 - 105	PROGRAM10
	106 - 115	PROGRAM11
	116 - 125	PROGRAM12
	126 - 135	PROGRAM13
	136 - 145	PROGRAM14
	146 - 155	PROGRAM15
	156 - 165	PROGRAM16
	166 - 175	PROGRAM17
	176 - 185	PROGRAM18
	186 - 195	PROGRAM19
	196 - 205	PROGRAM20
	206 - 215	PROGRAM21
	216 - 225	PROGRAM22
	226 - 235	オートモード
	236 - 245	サウンドアクティブモード
	246 - 255	
6	000 - 255	プログラムスピード、サウンド感度調節
	000 - 255	プログラムスピード 遅→速 サウンド感度設定 低→高
7	000 - 015	ストロボ -
	016 - 255	ストロボ遅→速
8	000 - 255	ディマー 0%→100%

※チャンネル 5 の値が 216-235 (PROGRAM21、22) の時:

チャンネル 3→基本のカラーに続く色を選択

チャンネル 4→基本のカラーを選択

チャンネル 6→チャンネル 3 で選択したカラーの速度設定

※チャンネル 5 の値が 16-245 の時:

チャンネル 6→選択された PROGRAM の速度調節

※チャンネル 5 の値が 246-255 の時:

チャンネル 6→マイクの感度調節

9 チャンネルモード (Ch.09)

チャンネル	DMX 値	機能
1	000 - 255	<u>赤 1-3</u> 0%→100%
2	000 - 255	<u>緑 1-3</u> 0%→100%
3	000 - 255	<u>青 1-3</u> 0%→100%
4	000 - 255	<u>赤 4-6</u> 0%→100%
5	000 - 255	<u>緑 4-6</u> 0%→100%
6	000 - 255	<u>青 4-6</u> 0%→100%
7	000 - 255	<u>赤 7-9</u> 0%→100%
8	000 - 255	<u>緑 7-9</u> 0%→100%
9	000 - 255	<u>青 7-9</u> 0%→100%

11 チャンネルモード (Ch.11)

チャンネル	DMX 値	機能
1	000 - 255	<u>赤 1-3</u> 0%→100%
2	000 - 255	<u>緑 1-3</u> 0%→100%
3	000 - 255	<u>青 1-3</u> 0%→100%
4	000 - 255	<u>赤 4-6</u> 0%→100%
5	000 - 255	<u>緑 4-6</u> 0%→100%
6	000 - 255	<u>青 4-6</u> 0%→100%
7	000 - 255	<u>赤 7-9</u> 0%→100%
8	000 - 255	<u>緑 7-9</u> 0%→100%
9	000 - 255	<u>青 7-9</u> 0%→100%
10	000 - 015 016 - 255	<u>ストロボ</u> - ストロボ遅→速
11	000 - 255	<u>ディマー</u> 0%→100%

カラーマクロチャート

COLOR	RED	GREEN	BLUE
BASTARD AMBER	255	206	143
MEDIUM AMBER	254	177	153
PALE AMBER GOLD	254	192	138
GALLO GOLD	254	165	98
GOLDEN AMBER	254	121	0
LIGHT RED	176	17	0
MEDIUM RED	96	0	11
MEDIUM PINK	234	139	171
BROADWAY PINK	224	5	97
FOLLIES PINK	175	77	173
LIGHT LAVENDER	119	130	199
SPECIAL LAVENDER	147	164	212
LAVENDER	88	2	163
INDIGO	0	38	86
HEMSLEY BLUE	0	142	208
TIPTON BLUE	52	148	209
LIGHT STEEL BLUE	1	134	201
LIGHT SKY BLUE	0	145	212
SKY BLUE	0	121	192
BRILLIANT BLUE	0	129	184
LIGHT GREEN BLUE	0	83	115
BRIGHT BLUE	0	97	166
PRIMARY BLUE	1	100	167
CONGO BLUE	0	40	86
PALE YELLOW GREEN	209	219	182
MOSS GREEN	42	165	85
PRIMARY GREEN	0	46	35
DOUBLE CTB	8	107	222
FULL CTB	107	156	231
HALF CTB	165	198	247
DARK BLUE	0	0	189
WHITE	255	255	255
FULL RED	255	0	0
FULL GREEN	0	255	0
FULL BLUE	0	0	255

DMX-512 について

DMX-512

DMX512 とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN、OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMXリンク

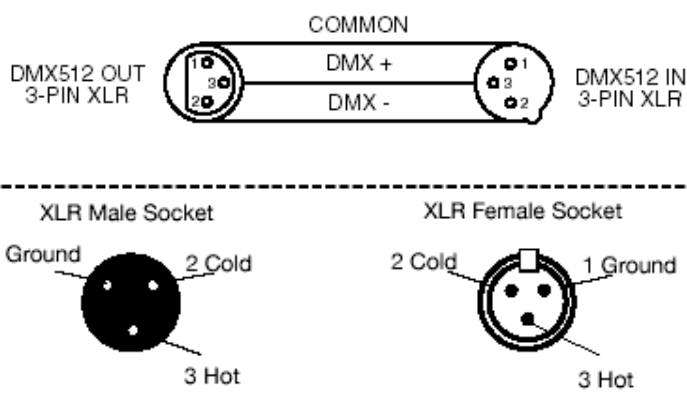
DMXデータの正確な送受信を行うために、ユニット間をつなぐケーブルは、できる限り短いものをご使用ください。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は関連しません。

接続されたユニットに対して任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

Ultra Bar 9 は最大 11DMX チャンネルを使用するユニットです。DMX アドレスは本体の側面で設定してください。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。

DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照してください。



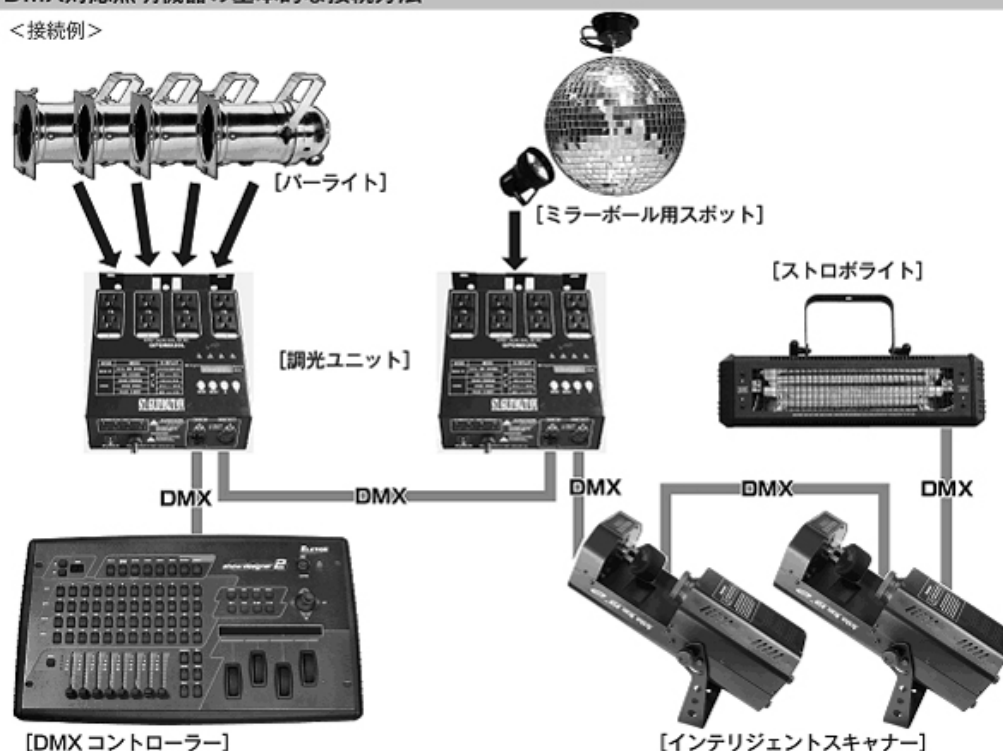
5 ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

メーカーによっては 3 ピン XLR コネクタの代わりに 5 ピン XLR コネクタを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン XLR コネクタを Ultra Bar 9 に接続する際は変換アダプターをお使いください。



DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



- ・ DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線には DMX ケーブルを使用してください。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続することが可能です。
- ・ DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が短くなるように配線してください。※
- ・ 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調節することが可能です。
- ・ インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は、通常のコンセントから取ってください。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか、故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取ってください。

※ - 長距離の配線について -

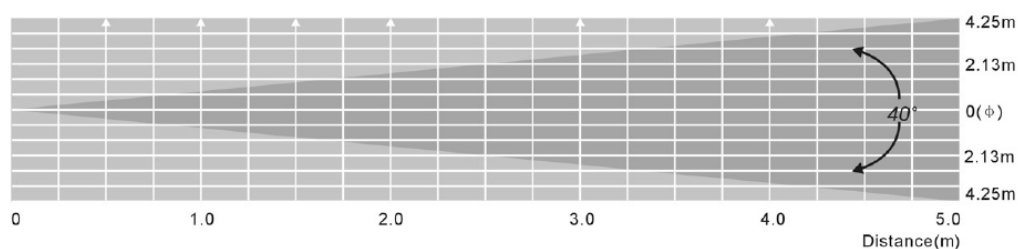
50m を超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達が上手くいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合はターミネーターを使用してください。ターミネーターとは、最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合はストロボライト)の OUT 端子に差し込むダミープラグをさします。ターミネーターの作成方法は下記を参照してください。

ターミネーターの作成方法

	ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。
	自作される場合はオスのXLRコネクターを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせてください。

配光表

R	D40	818	315	166.9	105.2	72.6	lux
G	D40	747	270	173	111	72	
B	D40	974	325	165.5	107.3	76.3	
RGB	D40	2574	934	519	322	198	



メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。＜ ＞内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行ってください。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用ください。

■外側のカバー ＜一週間に一度＞

カバーが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きしてください。

■信号ケーブル、電源ケーブル差込口 ＜一ヶ月に一度＞

差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

■ネジ ＜三ヶ月に一度＞

各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

ヒューズの交換方法

1. 電源ケーブルを抜いてください。
2. 電源ケーブル差込口の下にあるヒューズホルダーをマイナスドライバーなどで引き出して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認ください。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

症状	確認事項
電源が入らない	- 正しい電源・電圧に接続されているか - 電源ケーブルが損傷していないか - ヒューズが切れていないか
DMX で動作しない	- 接続に問題がないか - 正常な DMX ケーブルを使用しているか - DMX アドレスが正しく設定されているか
サウンドアクティブで動作しない	- 外部音が小さい音や高音でないか - マイク感度が低く設定されていないか
マスター/スレーブモードで動作しない	接続された機器の内、1 台のみがマスター機に設定されているか

製品仕様

モデル	Ultra Bar 9
LED 数	9 x 3W TRI LED
ビーム角	40 度
DMX チャンネル	3、5、6、7、8、9、11 チャンネルモードの中から選択
DMX 入出力端子	3 ピン XLR
消費電力	35W
ヒューズ	2A
使用電圧	AC100V、50/60Hz
寸法	W6.3 x H9.0 x D106.0 cm
重量	2.6kg

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございます。



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より 1 年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社により着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみに有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。